

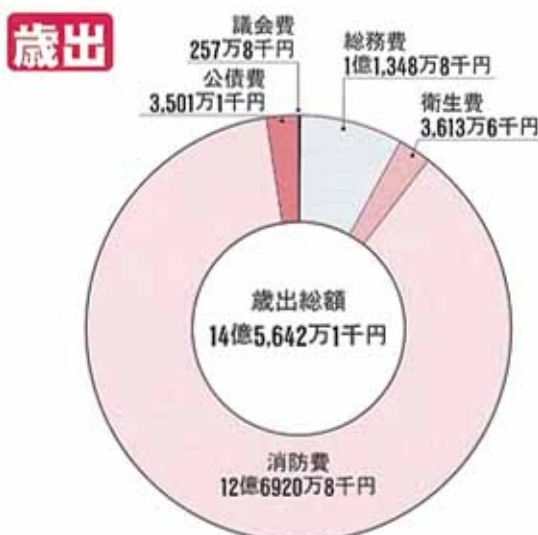
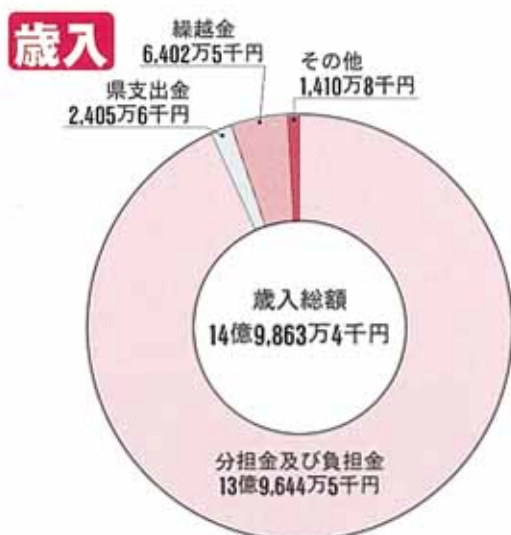
平成13年度相馬地方広域市町村圏組合の決算状況をお知らせします。

組合では、年2回財政公表をしています。今回は、平成13年度各会計の決算のあらましについてお知らせします。

一般会計の決算額は、歳入総額14億9,863万4千円（前年度比54.6%減）、歳出総額14億5,642万1千円（前年度比55.1%減）で、歳入歳出差引額4,221万3千円を平成14年度へ繰り越しました。

歳入の主なものは、構成市町村からの負担金13億9,644万5千円で、全体の93.2%を占めています。その内訳は、総務費負担金8,843万5千円、衛生費負担金1,212万5千円、消防費負担金12億9,588万5千円となっております。その他の歳入としては、繰越金、県支出金等があります。

次に歳出ですが、消防費が12億6,920万8千円で87.1%を占め、総務費が1億1,348万8千円で7.8%となっております。総務費の主なものとして、看護専門学校建設にかかる経費の収支残額のうち市町村負担金返還金3,829万1千円があります。次いで、衛生費2.5%、公債費2.4%、議会費0.2%となっています。



看護専門学校特別会計ではありますが、相馬看護専門学校が平成13年4月1日に開校したことにより特別会計が設置され、今回はじめて決算をしました。

決算額は、歳入総額2億840万2千円、歳出総額1億7,797万5千円で、歳入歳出差引額3,042万7千円を平成14年度へ繰り越しました。

歳入では、構成市町村からの負担金が、1億8,976万9千円で全体の91.1%を占めています。次に、使用料及び手数料が8.5%で、その内訳は、入学金、授業料、入学検定料等です。その他の歳入として、相馬郡医師会からの運営助成金500,000円等があります。

次に歳出ですが、その大半は看護専門学校運営経費であり、その額は1億7,031万1千円で、全体の95.7%を占めています。公債費については、看護専門学校整備事業における組合債の利子です。

